

令和元年 8月 8日

参加選手・保護者 様

岩美キッズトライアスロン全国大会
実行委員長 西 垣 英 彦
(公 印 省 略)

山陰海岸ジオパーク第9回岩美キッズトライアスロン全国大会
参加資料の送付について

山陰ジオパーク第9回岩美キッズトライアスロン全国大会へお申し込みいただきありがとうございます。
ございます。

この封筒には、次の資料を同封していますのでご確認ください。

- 1 決定通知書（レースナンバーが記載されています。）
- 2 競技規則（大人向け）
- 3 競技規則（子ども向け）
- 4 選手の動きと留意事項
（時間を追った選手の動きや注意事項を説明してあります。）
- 5 別紙資料（スケジュールや競技の説明がしてあります。）
- 6 レース用バイクについて
- 7 レースナンバーの取り付けについて
- 8 会場図
- 9 バイクチェック票（当日の選手招集時に提出します。※レンタル希望者は不要）
- 10 メディカルチェック票（当日の朝の健康状態を記入して受付に提出します。）
- 11 熱中症対策マニュアル
- 12 レースナンバーカード一式

（なお、当日（または前日）の受付では、次のものをお渡しする予定です。）

- ・スイムキャップ
- ・記念Tシャツ
- ・プログラム

みなさんが楽しいレースができますよう関係者一同お待ちしております。
当日までに体調をしっかりと整えてご参加ください。

※ ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。
090-8605-8455（石名）

※ ホームページ上に大会情報を掲載します。
通知している内容と変更する場合がありますので、最新情報の確認をお願いします。
アドレス> <http://www.iwami-kids.com/>

山陰海岸ジオパーク岩美キッズトライアスロン全国大会競技規則

総則

大会当日の気象条件等により、大会の開催中止、安全確保のため距離の短縮及びコースの変更等を行う場合があります。大会参加にあたり、選手及び保護者は、競技コース・競技規則をよく理解し承諾の上、自己責任において参加してください。なお、この規則に定めのない事項については、主催者（大会本部）の指示及び決定に従わなければなりません。また、大会ホームページへ競技コース・競技規則の閲覧がホームページ上で可能ですのでよく理解しておいてください。

第1条 共通競技規則

1 個人的援助の禁止

競技中の競技者は、他の競技者やコーチ・観客・保護者等からの助力及び飲食物の援助等を受けることはできません。ただし、「大会主催者側のスタッフやボランティア」（以下「大会スタッフ」という。）などにより、競技を続けるための必要最小限の助力及び援助を受けることができる場合があります。

2 コースの把握と進路確保

コースは、標示及び大会スタッフなどにより指示されますが、競技者は事前のコース下見などによりコースをよく把握し、自ら確認しながら競技を行わなければなりません。

3 交通規則順守と安全の確保

交通規則を守ることは選手競技者の義務であり、自ら安全を確認しながら競技を行わなければなりません。

4 コース離脱（コースアウト）と復帰及び逆走

設定された正規のコースを離脱したときは、離脱した地点に戻り競技を再開しなければなりません。また、事故の回避や怪我等正当な理由があるとき以外は、コースの逆走やコース上で立ち止まる等の停滞を行ってはけません。

5 危険行為、進路妨害の禁止

競技者は、他の競技者への危険行為・妨害行為をしてはいけません。

6 競技の停止、中止及び失格

- (1) 競技者は、危険回避、体調保全、競技用具整備のため、競技を一時的に停止することができます。
- (2) 競技者は、競技の続行に不安があると感じたときは、自らの意志で競技を中止することができます。
- (3) 過度の疲労、競技力不足、事故などにより、競技を続行することに支障があると判断され、審判員及び大会スタッフから競技中止の指示を受けた場合は、競技を中止しなければなりません。
- (4) 競技者及び保護者等により、他の競技者への妨害行為や大会運営に支障となる不正行為等があった場合は、審判員及び大会スタッフは失格の宣言を行い、その時点で競技者は大会に参加又は競技を続行することができなくなります。（失格の宣言が競技終了後であった場合は、当該競技者の記録は取り消しとなります。）

7 競技中止（リタイヤ）と申告義務

競技開始前又は競技中に体調不良や怪我のため、競技を中止したときは、すみやかに大会本部に申告しなければなりません。（大会スタッフを通じての連絡でも可とします。）

8 制限時間およびスタート順

主催者が目安として定める制限時間内にゴールラインを通過できなかった時は、失格となり競技が中止される場合があります。ただし、運営上の問題がないと判断された時は、そのまま競技を続けることが許可されますが、記録の計測は実施されないことがあります。

各カテゴリーの制限時間（目安時間です。）は次のとおりです。

カテゴリー1及びカテゴリー2	制限時間	スタート後40分
カテゴリー3及びカテゴリー4	制限時間	スタート後50分
カテゴリー5及びカテゴリー6	制限時間	スタート後55分
カテゴリー7及びカテゴリー8	制限時間	スタート後60分
リレー	制限時間	スタート後55分

なお、スタートは同一カテゴリーを基本としますが、人数によっては、異なるカテゴリーでのスタートとなる場合があります。その場合、申し込み順でカテゴリーを区別します。スタートリストは、出場決定通知と合わせて郵送させていただきます。

9 時間厳守

選手は、選手受付・集合・スタートなどの時間を厳守しなければいけません。

ただし、やむ終えない理由で時間に遅れて集合することが予想され、事前に大会本部に連絡があったときは、理由の正当性を判断したうえで、運営上の対応ができる場合に限り、競技に参加することを認めます。

10 競技ウェアとレースナンバー（ゼッケン）

- (1) 競技ウェアは安全で動きやすく、また、トライアスロン競技にふさわしいものでなければなりません。
- (2) スイムでは、スイムキャップがレースナンバーの代わりとなります。スイム中はレースナンバーが破れる恐れがあるため、バイクレース移行でつけてください。
- (3) バイク・ランのレースナンバーは、競技ウェアの正面（胸）側1枚及び背面（背中）側1枚の合計2枚を確実に留めてください。また、レースナンバー及びその全面がはっきりと見えるよう、四隅を安全ピン又は縫いつけで確実に留めてください。（※競技中に、めくれなどによりレースナンバーが見えにくいと判断された場合は、審判員及び大会スタッフが競技を一旦停止させ、修正する場合があります。）
- (4) レースナンバーベルトを使用する場合も同様に、身体の前面側1枚及び背面側1枚の合計2枚を確実に留めてください。
- (5) レースナンバー・トランジットバック類は、折りたたんだり切り取ったりすることで、大会スポンサー名を隠したり、小さくして取り付けてはいけません。必ず支給された状態のままで使用してください。
- (6) 審判員及び大会スタッフが取り付けについて修正を指示した場合は、それに従わなければいけません。
- (7) スイム中のレースナンバーとして、両腕にマジックでナンバーを記します。（大会当日召集時）

11 抗議及び異議申し立て

抗議及び異議申し立ては、下記について競技者本人または保護者等が大会本部に書面を提出する事で行い、その抗議内容は大会本部で審議されます。

- (1) 大会全般について（競技開始24時間以前）
- (2) 他競技者の違反・危険行為について（抗議者のフィニッシュ後60分以内）
- (3) 他競技者の用具について（抗議者のフィニッシュ後60分以内）
- (4) 競技記録・記録計時について（最初の記録結果が提示されてから30分以内）